

平成25年度 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
博士(前期)課程科目等履修生募集要項

1. 募集専攻名： 総合保健看護学専攻及び生体検査科学専攻
2. 募集人員： 各科目若干名
3. 履修可能単位数： 8単位以内
4. 出願資格： 4年制大学卒業者（平成25年3月卒業見込の者を含む。）
但し、専門看護師資格認定希望者は、原則として修士課程修了（見込）者に限る。

5. 出願手続

- (1) 出願受付（受付時間：9時～12時、13時～17時）

期間：平成25年1月8日（火）から平成25年1月15日（火）まで

場所：東京医科歯科大学学務部教務課大学院室教務第二掛（1号館西1階）

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL.03-5803-4534

※出願にあたっては、予め各授業科目担当教員と履修の可否について相談の上、認印を付けて提出すること。

※やむを得ず郵送する場合は、書留郵便とし、封筒に「科目等履修生出願書類在中」と朱書きのうえ、出願期間内に必着のこと。

- (2) 提出書類等（提出書類は、教務課窓口で配布。郵送を希望する場合は、教務課に連絡すること。）

- ① 科目等履修生入学願書（様式1）

※平成24年度からの履修期間の延長者（以下「延長者」）は、履修期間延長願（様式4）

- ② 履歴書（様式2）

- ③ 最高学歴の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書（平成23年度からの延長者を除く）

- ④ 返信用封筒（角形2号の封筒に、住所・氏名を記載し120円切手を貼付したもの）

- ⑤ 検定料 9,800円（平成24年度からの延長者を除く）

（本学所定の銀行振込用紙を使用して、最寄りの金融機関の窓口から電信扱いで振り込むこと。その際、金融機関から発行される「東京医科歯科大学検定料納付証明書」に金融機関の収納印があることを確認の上、必要書類に添えて提出のこと。なお郵便局からの振込は不可。また、手数料は振込人負担となります。）

- ⑥ 外国人の場合、在留資格を証明できる書類の写しを提出すること。

6. 選考及び結果

書類審査により選考し、平成25年2月18日（月）に結果を本人宛に郵送にて通知する。

7. 入学手続

合格者及び履修期間延長の許可を受けた者は、下記により入学等の手続を行うこと
（期間内に手続を完了しないときは入学及び延長を許可しない。）

- (1) 期間：平成25年2月25日（月）から平成24年3月1日（金）まで
（受付時間 9時から17時まで）

- (2) 場所：東京医科歯科大学学務部教務課大学院室教務第二掛（1号館西1階）
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL.03-5803-4534

- (3) 必要書類

- ① 誓約書（合格通知に同封。）

- ② 学生証（身分証明書）発行台帳（延長者を除く。）

- ③ 写真（出願前3ヶ月以内に撮影したもので上半身脱帽のもの）

縦4cm×横3cm・・・1枚

縦5cm×横4cm・・・1枚

- ④ 卒業（修了）証明書（出願時に卒業（修了）見込み証明書を提出した者。）

- ⑤ 入学料 28,200円（延長者を除く）

（本学所定の銀行振込用紙を使用して、最寄りの銀行の窓口から電信扱いで振り込むこと。また、手数料は振込人負担となります。）

8. 授業料：1単位につき14,800円（平成24年度実績）

なお、授業料の改定が行われた場合には改定時から新料金が適用されます。

※授業料の納入方法は、後日預金口座からの自動引落としにより行います。（入学手続きの際に詳細をお知らせします。）

9. その他

- (1) 既納の検定料・入学料はいかなる理由があっても返還しない。

- (2) 入学手続き完了者で授業料を納付した者が平成25年3月31日までに入学辞退及び一部科目等履修の取り消しを申し出て許可された場合は、当該授業料相当額を返還する。

- (3) 選抜に用いた個人情報と教育目的以外に使用することは有りません。

本募集に係る照会

東京医科歯科大学学務部教務課大学院室教務第二掛

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL.03-5803-4534

1.0. 平成24年度科目等履修生開設授業科目一覧
 (1) 総合保健看護学専攻

① 共通科目

| 授業科目名 | 履修条件 | 単位数 | 講義の内容 | 授業担当者 (電話番号・メールアドレス) |
|-----------|------------------------|-----|--|--|
| 看護学研究法特論 | 看護師免許取得者のみ履修可 | 2 | 看護研究のプロセスと看護学研究法を学び、看護活動の質向上や看護技術の開発に必要な基礎的研究能力を修得する。また、研究論文のクリティークを通して、看護学研究の評価の視点を養い、研究成果の看護実践への活かし方と論文作成の基礎を修得する。 | 大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp |
| 看護管理学特論 | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 保健医療福祉に携わる人々間の調整を行ったり、看護管理に携わる看護職と協力して看護実践および研究を行っていく能力を身につけることを目的とし、組織内におけるリーダーシップや調整機能、スタッフの能力開発などの理論および実際を学び、看護管理に関する理解を深める。 | 深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp |
| 看護政策学特論 | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 専門看護師として、あるいは看護教育・研究者として、看護の質向上のための制度等の改善を含む政策的な働きかけのあり方を学ぶ。具体的には、医療や看護をとりまく制度や政策の現状や決定過程について講義・演習を通じて学習する。 | 深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp |
| 家族看護学特論 | | 2 | 家族の健康問題・家族ダイナミクスを生活とかわらせて理論的に分析する方法と実践的な援助の方法を技術として用いられるようにすることをめざす。この目的を達成するために、概念枠組・理論・評価研究方法を事例分析やケアのためのアプローチ方法を含めて修得する。 | 広瀬たい子 5803-5342 tykocho.ns@tmd.ac.jp |
| 看護情報統計学特論 | | 2 | 看護に関する研究を行う上で必要な統計学を修得する。統計学特有の考え方、特に仮説検定や統計的有意性について分かりやすく講義する。やや高度な統計手法も含めて学ぶが、個々の手法を覚えるのではなく、その基礎となる考え方を理解することに重点を置く。講義と並行して、PCを用いた統計ソフトの使い方も学ぶ。 | 田中 博 5803-5839 tanaka@cim.tmd.ac.jp 新村芳人 5803-4595 niiimura@bioinfo.tmd.ac.jp |
| 看護教育学特論 | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 専門看護師が有する教育的機能の基本を理解し、役割を果たすための原理と技能を学ぶ。また教育的機能が、看護ケアの質向上にもたらす効果を理解し、そのための教育環境整備ならびに継続教育にあり方を学ぶ。 | 井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp |

② 専攻科目

| 授業科目名 | 履修条件 | 単位数 | 講義の内容 | 授業担当者 (電話番号・メールアドレス) |
|-------------------|--|-----|--|--|
| 地域保健看護学特論A | | 2 | 地域で生活する人々に対して主に予防を意図した地域看護サービスを中心として関連情報を分析し、個人・家族・集団を単位とした看護活動計画、展開法、評価法、実践や指導への応用方法、具体的な研究展開の能力を講義と討議により修得する。 | 佐々木明子 5803-5350 sasaki.phn@tmd.ac.jp |
| 看護病態生理学 | | 2 | がんの病態整理全般を理解し、現在わが国におけるがん治療を概観する。さらに、がんの診断および治療を理解することにより、専門的に関わる状態にある対象を理解する。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |
| 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-1 | | 2 | 診断・治療の時期より在宅療養および終末期にいたるまでのがん患者に対して、専門的看護援助を実践する基礎となる理論を理解し、対象となる看護場面で理論を活用する方法を身につける。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |
| 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-2 | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 在宅・緩和ケアを必要とする病態的な特性、がん治療および看護の現状を理解し、診断治療に伴う問題の把握および援助方法、がん罹患に関連する苦痛の把握および援助方法、そして、在宅における終末期看護について理解する。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |
| 在宅ケア・緩和ケア看護学演習A | 在宅ケア・緩和ケア看護学特論AおよびBを履修した者のみ履修可 | 2 | がん看護に関連する現在の課題、およびアセスメントと援助について看護実践事例の分析、文献検討、専門家の取り組みを通して検討し、実践で看護を展開する能力を習得する。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |
| 在宅ケア・緩和ケア看護学特論B | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | がん患者の療養の中心が在宅に移行することを見通して、特に終末期における在宅における症状緩和の援助緩和、療養環境のコーディネート、および終末期における家族看護について理解する。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |
| 在宅ケア・緩和ケア看護学演習B | 在宅ケア・緩和ケア看護学特論AおよびBを履修した者のみ履修可 | 2 | 診断・治療初期の時期、外来治療継続の時期、および在宅療養の時期にある事例の情報収集と看護実践を体験し、この内容から今後望む在宅がん看護のあり方を考える。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |
| 在宅ケア・緩和ケア看護学実習 | 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A・B、および同演習A・Bを履修した者のみ履修可 | 6 | がん専門看護師受験資格を得るために、病院から在宅療養への全過程を通し、がん専門看護師としての基礎的態度、判断能力、実践能力を身につける。主に、がん専門病院の外来部門と在宅ターミナルケアを実践する訪問看護ステーションを実習場所とし、実際の療養者に対する援助を経験し、その中からがん専門看護師として取り組むべき課題と今後の看護の方向性を見出す。 | 本田彰子 5803-5355 ahonda.chn@tmd.ac.jp |

| | | | | |
|-------------------|--------------|---|--|--|
| リプロダクティブヘルス看護学特論A | | 2 | 女性の性と生殖に関わる種々の看護課題に対する個人および集団に対するケア提供システム、実際の看護援助法、看護介入場面の選択、介入技法の科学的な根拠などを理解し、専門的なケア提供を行うための能力を講義と討議により修得する。 | 大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp |
| リプロダクティブヘルス看護学演習A | | 2 | リプロダクティブヘルス看護学におけるケアの対象特性、および女性の性と生殖に関わる問題状況の特性を理解し、科学的な根拠に基づく看護援助の開発とその効果判定を行うための研究方法の基礎的能力を演習により修得する。 | 大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp |
| リプロダクティブヘルス看護学特論B | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | リプロダクティブヘルス看護学におけるケアの対象特性、および女性の性と生殖に関わる問題状況の特性を理解し、科学的な根拠に基づく看護援助の開発とその効果判定を行うための研究方法の基礎的能力を講義と討議により修得する。 | 大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp |
| リプロダクティブヘルス看護学演習B | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 女性の性と生殖に関わる種々の看護課題に対する個人および集団に対するケア提供システム、実際の看護援助法、看護介入場面の選択、介入技法の科学的な根拠などを理解し、専門的なケア提供を行うための能力を演習により修得する。 | 大久保功子 5803-5349 kouko.rhn@tmd.ac.jp |
| 精神保健看護学特論A-1 | | 2 | 精神保健福祉をめぐる社会状況と関連法規、社会制度の変遷について理解を深め、看護師の視点から、即存の制度や社会資源を活用し、患者の自助活動と連携しながら、保健医療福祉システムが内包する課題の克服に向けて、制度改革を行って行くための方策を学ぶ。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成24年度担当教員:宮本眞巳) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |
| 精神保健看護学特論A-2 | | 2 | 人々の精神状態や発達課題の的確な評価に基づき、様々な年代や健康状態の人々に精神的援助を提供できる能力を養うために、精神医学的診断法、心理測定法、精神療法等の様々な精神科治療技法に学びつつ、看護学独自の視点に基づく評価と援助の方法を習得する。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成24年度担当教員:宮本眞巳) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |
| 精神保健看護学特論A-3 | | 2 | 精神的な問題をもつ人々に適切な看護的援助を提供する上で必要な内省技法、面接技法、グループワーク技法を基盤としながら、精神保健看護学の分野における研究の方法論について理解を深め、臨床現場のニーズに沿った研究に取り組める能力を養う。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成24年度担当教員:宮本眞巳) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |

| | | | | |
|---------------|------------------------------|---|---|--|
| 精神保健看護学特論B-1 | | 2 | 小集団による 事例検討会を通じた看護評価、スーパービジョン、コンサルテーションの実際にふれながらその方法論を習得し、併せて、個別のスーパービジョン、コンサルテーション、相談面接の技法についても講義並びに事例検討への参加を通じて習得する。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成 24 年度担当教員:宮本眞巴) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |
| 精神保健看護学特論B-2 | | 2 | 司法精神医療における臨床実践の理論と実際に重点を置きながら、精神疾患患者の回復と自立を促進するために開発されてきた認知行動療法、心理教育、芸術療法、ボディワーク等の実際と、それらの技法を用いたグループワークを通じた患者観察・患者評価の方法論について、講義と討議によって習得する。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成 24 年度担当教員:宮本眞巴) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |
| 精神保健看護学特論B-3 | | 2 | 精神疾患患者の病状や心理社会的状況に応じた看護契約、権利擁護、アメニティ向上の方法論、並びに他職種との連携に根ざす急性期看護、回復期看護、リハビリテーション看護、在宅看護の充実を支える理論と方法論について、講義と討議によって習得する。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成 24 年度担当教員:宮本眞巴) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |
| 精神保健看護学実習 | 修士課程修了者のみ履修可 | 6 | 精神疾患患者との間に適切な援助関係を形成する経験を蓄積することを通じて、あらゆる人々への精神的援助を担い得る実践能力を高め、看護職への支援、他職種との連携・調整、臨床実践に根ざす研究・教育を担い得る能力を養う。 | 未定 ※履修を希望する場合は下記連絡先にて履修の可否を相談すること。 (平成 24 年度担当教員:宮本眞巴) 5803-5354 miyamoto.ns@tmd.ac.jp |
| 生体・生活機能看護学特論A | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 看護実践の基盤となる基礎理論、日常生活援助を中心とした看護技術の生活および生体機能に及ぼす効果、科学的根拠に基づく援助法を理解し、看護技術の看護学検証法と新たな援助法を開発するための基礎的な能力を講義と討議により修得する。 | 齋藤やよい 5803-5345 ysaito.fnls@tmd.ac.jp |
| 生体・生活機能看護学演習A | 生体・生活機能看護学特論AおよびBを履修した者のみ履修可 | 2 | 看護技術の看護学検証法と新たな援助法を開発するための基礎的な能力を演習により習得する。特論AおよびBで学んだ科学的方法を活用して、興味のある日常生活援助の効果を検証する研究計画を立案し、模擬実験を行う。 | 齋藤やよい 5803-5345 ysaito.fnls@tmd.ac.jp |
| 生体・生活機能看護学特論B | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 実験的取り組みによって看護技術の効果やメカニズムを検証した文献を抄読し、討議することにより、看護実践の基盤となる日常生活援助を中心とした看護技術の効果と科学的根拠に基づく援助法を開発するための基礎的な能力を修得する。 | 齋藤やよい 5803-5345 ysaito.fnls@tmd.ac.jp |

| | | | | |
|---------------------|------------------------|---|---|--|
| 先端侵襲緩和ケア看護学特論 A | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 先端的医療や侵襲的治療を受ける人々とその家族を理解し、重篤期から回復期、セルフマネジメントを必要とする時期に至るまで、さらには緩和ケアを含めた看護法および理論を学び、これらの専門的看護および研究方法を講義と討議により修得する。 | 井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp |
| 先端侵襲緩和ケア看護学演習 A | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 先端的医療や侵襲的治療を受ける人々とその家族を理解し、重篤期から回復期、セルフマネジメントを必要とする時期に至るまで、さらには緩和ケアを含めた看護法および理論を学び、これらの専門的看護および研究方法を演習により修得する。 | 井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp |
| 先端侵襲緩和ケア看護学特論 B | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 重篤患者、侵襲的治療を受ける患者や家族に対する看護実践の国際的動向と我が国の特色を理解し、各学生が現状の臨床看護課題分析および将来の臨床看護実践への取り組みに反映できるよう、ケアシステム論、援助方法論を含めて講義と討議により修得する。 | 井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp |
| 先端侵襲緩和ケア看護学演習 B | 修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 重篤患者、侵襲的治療を受ける患者や家族に対する看護実践の国際的動向と我が国の特色を理解し、各学生が現状の臨床看護課題分析および将来の臨床看護実践への取り組みに反映できるよう、ケアシステム論、援助方法論を含めて演習により修得する。 | 井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp |
| 先端侵襲緩和ケア看護学実習 | 修士課程修了者のみ履修可 | 6 | 各学生の関心領域の健康障害に関し、個人・家族に生じる身体的・心理的・社会的困難のアセスメントと、困難への対処方法の指導・調整・相談に必要な能力を修得する。 | 井上智子 5803-5351 tinoue.cc@tmd.ac.jp |
| 高齢者看護・ケアシステム開発学特論 A | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 高齢者とその家族の健康に影響を与える要因を理解し、健康生活レベルのアセスメント、看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、看護管理、ソーシャルサポート、看護施策・政策、国際的な医療の動向について学ぶとともに、ケアシステムの確立と発展への開発的研究能力を講義と討議により修得する。 | 緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp |
| 高齢者看護・ケアシステム開発学演習 A | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 高齢者看護学の観点から高齢者とその家族の健康に影響を与える要因を理解し、健康生活レベルのアセスメント、看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、ソーシャルサポート、看護施策・政策、国際的な医療の動向について学ぶとともに、ケアシステムの確立と発展への開発的研究能力を演習により修得する。 | 緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp |

| | | | | |
|------------------------|------------------------|---|--|---|
| 高齢者看護・ケアシステム 開発学特論B | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 高齢者とその家族の健康に影響を与える要因を理解し、健康生活レベルのアセスメント、専門的な看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、看護管理、リスクマネジメント、ソーシャルサポート、看護施策・政策、国際的な医療の動向について学ぶとともに、ケアシステムの確立と発展への開発的研究能力を講義と討議により修得する。 | 緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp |
| 高齢者看護・ケアシステム 開発学演習B | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 高齢者とその家族の健康に影響を与える要因を理解し、健康生活レベルのアセスメント、専門的な看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、看護管理、ソーシャルサポート、看護施策・政策、国際的な医療の動向について学ぶとともに、ケアシステムの確立と発展への開発的研究能力と実践的リーダーシップ能力を演習により修得す | 緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp |
| 高齢者看護・ケアシステム 開発学実習 | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 6 | 専門的な看護援助の理論と方法、コンサルテーション、ケアマネジメント、看護管理、ソーシャルサポートに関する知識と技術を活用し、優れた実践を行っている病院、老人保健施設、在宅ケア施設などのケアチームの中で専門的な看護実践を推進できるとともに、ケアシステムの確立と発展への開発的思考と実践能力を実習により修得する。 | 緒方泰子 5803-5358 yogata.gh@tmd.ac.jp |
| 看護システムマネジメント 学特論A | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 看護管理、医療政策、研究法などに関連するさまざまな分野の文献・書籍を批判的に吟味することによって、高度化する医療の中で複雑化する現行の保健医療制度・政策を理解し、質の高い医療・看護を提供するための基礎的知識・能力を身につける。 | 深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp |
| 看護システムマネジメント 学演習A | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 臨床指向型研究でリーダーシップを発揮できる教育・研究者の育成を目指して、看護システムマネジメント学領域において個々の関心に沿い、かつ社会的意義もある研究テーマを設定し、研究計画を策定する能力を育成する。 | 深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp |
| 看護システムマネジメント 学特論B | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 看護管理、医療政策、研究法などに関連するさまざまな分野の文献・書籍を批判的に吟味することによって、高度化する医療の中で複雑化する現行の保健医療制度・政策を理解し、質の高い医療・看護を提供するための基礎的知識・能力を身につける。 | 深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp |
| 看護システムマネジメント 学演習B | 看護師免許取得者で、修士課程修了者のみ履修可 | 2 | 臨床指向型研究でリーダーシップを発揮できる教育・研究者の育成を目指して、看護システムマネジメント学領域において、研究を実施し、発表するための能力を育成する。 | 深堀浩樹 5803-5352 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp |

| | | | | |
|-------------|--|---|--|--|
| 健康情報分析学特論 A | | 2 | 健康を規定する因子は遺伝的素因やライフスタイルなどの多様な範囲に及ぶ。それらの因子に関する実験的、疫学的情報を分析する基本的方法を修得する。また、それらの情報を基に国際的視野に立った健康に関する考え方を講義と討議により修得する。 | 佐藤千史 5803-5335 c.sato.ns@tmd.ac.jp |
| 健康情報分析学演習 A | | 2 | 健康を規定する因子は遺伝的素因やライフスタイルなどの多様な範囲に及ぶ。それらの因子に関する実験的、疫学的情報を分析する基本的方法を演習する。また、それらの情報を基に国際的視野に立った健康に関する考え方を演習により修得する。 | 佐藤千史 5803-5335 c.sato.ns@tmd.ac.jp |

(2) 生体検査科学専攻

① 専攻科目

| 授業科目名 | 履修条件 | 単位数 | 講義の内容 | 授業担当者 (電話番号・メールアドレス) |
|-----------------|------|-----|---|--|
| 分子生命情報解析学特論 A-1 | | 4 | ゲノム情報、プロテオミクス情報の急速な進歩によって、生命情報の何が明らかになって、何が未解明であるのか…。研究者として、高度専門職として、常に問題意識を持って独力で解決して行く能力が求められている。本講座では、批判的精神と柔軟な感性によって、国際誌に発表された最先端の研究成果を独力で理解する能力を養成する | 赤澤智宏 5803-5362 c.akazawa.bb@tmd.ac.jp |
| 分子生命情報解析学特論 A-2 | | 4 | 個体の発生や疾患に関わる様々な生命現象を細胞レベル・分子レベルで学び、そのメカニズムを理解する。そのような基礎的研究、またそれに基づく医療分野への応用研究を最先端の学術論文から学び、分子生命科学の基礎を修得する。 | 赤澤智宏 5803-5362 c.akazawa.bb@tmd.ac.jp 鈴木喜晴 5803-5364 nsuzbb@tmd.ac.jp |
| 形態・生体情報解析学特論 A | | 4 | 人体の構造と機能について理解を深める。さまざまな顕微鏡技術により、明らかにされてきた生体の構造と機能を学び、具体的なイメージング技術の原理とその応用を習得する。 | 星 治 5803-5361 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp |

| | | | | |
|-------------------|--|---|--|---|
| 生命機能情報解析学特論 A | | 4 | 分子・細胞レベルから器官までの個々の要素が統合されたシステムとしての生体のはたらきを、測定、解析する検査法について学ぶ。とくに、神経や循環などの臨床生理学的検査、画像診断検査について理論や技術を学び、さらに、それらを応用した研究方法を修得する。 | 松浦雅人 5803-5372 matsu.mtec@tmd.ac.jp 笹野哲郎 5803-5365 sasano.bi@tmd.ac.jp |
| 生体機能支援システム開発学特論 A | | 4 | 視覚情報処理を題材に生体现象をシステム論や数理解析法を通して理解する方法を学ぶ。医学と工学における概念および手法の対応関係を習得し、生体計測・生体情報処理・生体システム制御の研究に役立てる。 | 伊藤南 5803-5366 minami.bse@tmd.ac.jp |
| 先端分析検査学特論 A | | 4 | 血液、血清、尿など多種多彩な成分を含む体液中で特定の成分を分析する技術は他の分野にない特殊性を持つ。この認識の上に立って、その体液成分に適した斬新な化学分析検査法を学び、さらにそれに必要な知識と技術を修得する。 | 戸塚 実 5803-5374 mtozuka.alc@tmd.ac.jp |
| 生体防御検査学特論 A-1 | | 4 | 免疫系のしくみについて、現在の免疫学が細胞レベル、分子レベルで解明してきたことの概略を理解する。 | 窪田哲朗 5803-5369 tetsuo.kubota.mtec@tmd.ac.jp |
| 生体防御検査学特論 A-2 | | 4 | 微生物学の基礎的知識とともに、実際の感染症病態における生体防御機構を包括的に考察する。分子・遺伝子レベルの最新のトピックスおよびそれらの臨床検査への応用についても修得する。 | 齋藤良一 5803-5368 r-saito.mi@tmd.ac.jp |
| 分子病態検査学特論 A | | 4 | 分子病態検査学では主に病理学的研究の進め方について講義を行う。その中で、病理組織学的検査の長所、短所について言及し、また病理学的試料を用いたゲノム解析、プロテオーム解析についても触れる。 | 沢辺元司 5803-5370 m.sawabe.mp@tmd.ac.jp |
| 先端血液検査学特論 A | | 4 | 疾患、特に血液疾患の病因、病態を分子・遺伝子レベルで解明したり診断するのに役立つ血液学的検査法・分子生物学的実験技法を学び、それに必要な知識と技術を修得する。 | 小山高敏 5803-5882 koyama.lmg@tmd.ac.jp |
| 先端生体分子分析学特論 A | | 4 | 有機分析化学、機器分析化学などの基礎を学び、高度分析機器による分析法および分析技術ならびに新たな分析方法を開発する能力を修得する。 | 笠間健嗣 5803-5794 kasama.bioa@tmd.ac.jp |

11. 授業時間割表

(1) 総合保健看護学専攻

【前期】

| | 1 時 限 | 2 時 限 | 3 時 限 | 4 時 限 | 5 時 限 |
|---|--------------------------|--------------------------|------------------------|----------------------|--|
| | 8:50～10:20 | 10:30～12:00 | 13:00～14:30 | 14:40～16:10 | 16:20～17:50 |
| 月 | 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-1 本田 | | 看護学研究法特論 大久保・深堀・森田 | | 小児・家族発達看護学特論A-1 廣瀬 |
| 火 | 看護管理学特論 深堀 | | 精神保健看護学特論A-1 (未定) | 精神保健看護学特論A-2 (未定) | |
| 水 | | | 看護システムマネジメント学特論A 深堀 | | [5時限～6時限(18:30～20:00)] (共)病因・病態解析学 松浦・笹野 |
| 木 | 小児・家族発達看護学特論A-2 廣瀬 | リプロダクティブヘルス看護学特論A 大久保 | 健康情報分析学特論A 佐藤(千) | | (共)医療情報学 伊藤 |
| 金 | 高齢者看護・ケアシステム開発学特論A 緒方 | 高齢者看護・システム開発学演習A 緒方 | 先端優襲緩和ケア看護学特論A 井上 | 精神保健看護学特論A-3 (未定) | 精神保健看護学特論B-1 (未定) |
| | 小児・家族発達看護学演習A-1 廣瀬 | 生体・生活機能看護学特論B 齋藤 | 看護システムマネジメント学演習A 深堀 | | |
| | 在宅ケア・緩和ケア看護学特論A-2 本田 | | | | |
| | 国際看護開発学特論A 丸 | | | | |
| | リプロダクティブヘルス看護学演習A 大久保 | リプロダクティブヘルス看護学演習B 大久保 | | | |

【後期】

| | 1 時 限 | 2 時 限 | 3 時 限 | 4 時 限 | 5 時 限 |
|---|--------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 8:50～10:20 | 10:30～12:00 | 13:00～14:30 | 14:40～16:10 | 16:20～17:50 |
| 月 | 国際看護研究方法論 丸 | | 先端優襲緩和ケア看護学特論B 井上 | 先端優襲緩和ケア看護学演習A 井上 | |
| 火 | 看護政策学特論 深堀 | 家族看護学特論 廣瀬 | 健康教育学特論A 森田 | 健康教育学演習A 森田 | |
| 水 | | 看護情報統計学特論 田中(博) | 在宅ケア・緩和ケア看護学特論B 本田 | 在宅ケア・緩和ケア看護学演習B 本田 | |
| 木 | 看護政策学特論 深堀 | | 精神保健看護学特論B-2 (未定) | 精神保健看護学特論B-3 (未定) | |
| 金 | 生体・生活機能看護学演習B 齋藤 | | 先端優襲緩和ケア看護学演習B 井上 | | |
| | 小児・家族発達看護学特論B 廣瀬 | | 在宅ケア・緩和ケア看護学演習A 本田 | | |
| | | | 看護教育特論 井上、(未定)、佐々木 | | |
| | | | 健康情報分析学演習A 佐藤(千) | | |
| | 高齢者看護・ケアシステム開発学特論B 緒方 | | 小児・家族発達看護学演習B 廣瀬 | | |
| | | | 高齢者看護・ケアシステム開発学演習A 緒方 | 高齢者看護・ケアシステム開発学演習B 緒方 | |
| | | | リプロダクティブヘルス看護学演習A 大久保 | リプロダクティブヘルス看護学演習B 大久保 | リプロダクティブヘルス看護学特論B 大久保 |
| | | 看護システムマネジメント学特論B 深堀 | 看護システムマネジメント学演習B 深堀 | | |
| | | | 国際看護開発学演習A 丸 | | |

(2)生体検査科学専攻

【前 期】

| | 1 時 限 | 2 時 限 | 3 時 限 | 4 時 限 | 5 時 限 |
|---|----------------------|-------------|------------------------------|-------------|--|
| | 8:50~10:20 | 10:30~12:00 | 13:00~14:30 | 14:40~16:10 | 16:20~17:50 |
| 月 | 分子生命情報解析学特論A-1 赤澤 | | 分子生命情報解析学特論A-2 赤澤・鈴木 | | |
| 火 | 先端分析検査学特論A 戸塚 | | | | |
| 水 | | | | | [5時限~6時限 (18:30~20:00)] (共)病因・病態解析学 松浦・笹野 |
| 木 | 生体防御検査学特論A-2 齋藤 | | 生体防御検査学特論A-1 窪田 | | (共)医療情報学 伊藤 |
| 金 | 生体機能支援システム学特論A 伊藤 | | 分子生命情報解析学実験A-1, A-2 赤澤・鈴木 | | |

【後 期】

| | 1 時 限 | 2 時 限 | 3 時 限 | 4 時 限 | 5 時 限 |
|---|-----------------------|-------------|---|-------------|-------------|
| | 8:50~10:20 | 10:30~12:00 | 13:00~14:30 | 14:40~16:10 | 16:20~17:50 |
| 月 | 形態・生体情報解析学特論A 星 | | 形態・生体情報解析学実験A 星 | | |
| 火 | 分子病態検査学特論A 沢辺 | | 分子病態検査学実験A 沢辺 先端分析検査学実験A 戸塚 | | |
| 水 | 先端生体分子分析学特論A 笠間 | | 生体防御検査学実験A-1 窪田 生体防御検査学実験A-2 齋藤 | | |
| 木 | 生命機能情報解析学特論A 松浦・笹野 | | 生命機能情報解析学実験A 松浦・笹野 先端生体分子分析学実験A 笠間 | | |
| 金 | 先端血液検査学特論A 小山 | | 先端血液検査学実験A 小山 生体機能支援システム学実験A 伊藤 | | |

10. 平成25年度授業期間 (大学院保健衛生学研究科)

〔前期〕

平成25年 4月10日(水)～平成25年 4月26日(金)

平成25年 5月 7日(火)～平成25年 7月30日(火)

平成25年 7月31日(水)～平成25年 8月 9日(金) (補講)

〔後期〕

平成25年 9月30日(月)～平成25年12月20日(金)

平成26年 1月 6日(月)～平成26年 1月27日(月)

平成26年 1月28日(火)～平成26年 2月 7日(金) (補講)

※授業日程等詳細については、担当教員に問い合わせること。